

「総合実習」シラバス (授業計画)

総合学科 海洋生物系列 2年 3単位

月	総時数	学 習 項 目	学 習 内 容	時数
4	1	ロープワーク	・ハーフヒッチ、ツーハーフヒッチ、クラブヒッチ	1
	2		・もやい結び、垣根結び	1
	3		・すべての結びが20秒以内にできるように反復練習	1
	4	スブライス	・ショートスブライス①	1
	5		・ショートスブライス②	1
	6		・ショートスブライス③	1
	7	スキndaイビング①	・道具の説明を聞き、使用法を学ぶ	1
	8		・プールでの練習、マスククリア、シュノーケルクリアが完全	1
	9		・全にできるように反復練習	1
	10	スキndaイビング②	・ジャックナイフをマスターする	1
	11		・三点セットをつけて反復練習。泳力をつける。	1
	12		同上	1
	13	スキndaイビング③	・大度海岸へ移動、浅瀬で道具の確認、	1
	14		・安全に留意しスキndaイビングを楽しむ。	1
	15		・サンゴ、魚などを観察し、学校へ移動	1
5	16	スキndaイビング④	・大度海岸へ移動、浅瀬で道具の確認、	1
	17		・安全に留意しスキndaイビングを楽しむ。	1
	18		・サンゴ、魚などを観察し、学校へ移動	1
	19	生物調査 プランクトン	・あらかじめ採集された動物プランクトンを大きさや動きを	1
	20		・観察し、でききるだけ多くの種類をスライドグラスに乗せ	1
	21		・る。それぞれ観察しスケッチ、検索を行う。	1
	22	栽培漁業実習① 餌料の培養	・ハマフエフキの種苗生産のためにワムシの培養を行う。	1
	23		・あわせてワムシの観察、スケッチをおこなう。	1
24	・計数、密度計算等を正確に行う。		1	
25	生物調査 潮間帯生物	・名城海岸へ移動、生物採集を行う。	1	
6	26	生物調査 海岸	・最小限の生物を確保し帰路。	1
	27		・図鑑で生物を調べ、特徴をメモ、時間があればスケッチ	1
	28		・喜屋武海岸へ移動、生物採集を行う。	1
	29	生物調査 タイドプール	・最小限の生物を確保し帰路。	1
	30		・図鑑で生物を調べ、特徴をメモ、時間があればスケッチ	1
	31		・大度海岸へ移動、生物採集を行う。	1
	32	操船 船の構造とエンジン	・最小限の生物を確保し帰路。	1
33	・図鑑で生物を調べ、特徴をメモ、時間があればスケッチ		1	
34	・小型船舶の構造		1	
7	35	操船 ①	・エンジンの概要	1
	36		・航行のルール	1
	37		・出航前の点検、離岸、操船練習	1
	38	操船 ②	・操船練習	1
	39		・操船練習、着岸、離船前の点検	1
	40		・出航前の点検、離岸、操船練習	1
	41	漁業実習 沖のさびきつり①	・操船練習	1
	42		・操船練習、着岸、離船前の点検	1
43	・糸満沖にてさびき釣りをを行う		1	
9	44		・同上さびき釣り	1

10	45		・片付け、釣れた魚の加工、検索	1
	46	漁業実習 沖のさびきつり②	・糸満喜屋武岬沖にてさびき釣りをを行う	1
	47		・同上さびき釣り	1
	48		・片付け、釣れた魚の加工、検索	1
	49	漁業実習 沖のさびきつり③	・ルカン礁にてさびき釣りをを行う	1
	50		・同上さびき釣り	1
	51		・片付け	1
	52	編網①	・目板の作成	1
	53		・本目結節にて20目2列を目標に編網	1
	54		・同上6列を目標	1
11	55	編網②	・同上10列	1
	56		・同上14列	1
	57		・同上18列まで	1
	58	漁具製作 基本的な結び	・ハリの結び（外掛け結び、内がけ結び）	1
	59		・糸とサルカンの結び（クリンチノットほか）	1
	60		・糸と糸の結び（電車結び）、枝バリの作り方	1
	61	漁具製作 さびきつくり	・枝バ리를6本作る	1
	62		・枝バりにスキンゴムを巻く	1
	63		・幹糸に枝バ리를結ぶ	1
	64	漁具製作 ウキの製作①	・バルサを材料にウキの形に決められた寸法に成形する	1
12	65		・表面をサンドペーパーでなめらかにする。錘を仕込む	1
	66		・硬化液に浸し乾かす。3回ほど	1
	67	漁具製作 ウキの製作②	・着色	1
	68		・浮力実験	1
	69		・硬化液へ浸し、乾燥	1
	70	漁具製作 ルアー製作①	・バルサで形をとり、成形	1
	71		・オモリを仕込む孔をあけ、ワイヤーのはまる溝を掘る	1
	72		・形を整え硬化液に浸す。	1
	73	漁具製作 ルアー製作②	・表面に鱗模様をほどこしたアルミホイルを張る。	1
	74		・硬化液に浸す、腹と背に銀色を塗る。	1
1	75		・腹と背に網をかぶせ、黒を吹き付ける。硬化液につける	1
	76	漁具製作 ルアー製作③	・顔になる部分にアルミホイルをはり、眼をつける。	1
	77		・リップを作り、つける	1
	78		・フックを取り付け、浮力実験をする	1
	79	作品製作 魚拓	・魚体のぬめりをきれいに拭く。道具の準備	1
	80		・しわができないようにキャラコを貼り付ける。眼を書き入	1
	81		れる。名前等を書き入れる。	1
	82	作品製作 魚類の骨格標本①	・魚体を煮て身をやわらかくする。	1
	83		・各部の骨を折れないように注意し前後左右間違わないよう	1
	84		に並べていく。その際付着している肉等はきれいに取る。	1
2	85	作品製作 魚類の骨格標本②	・完全に水分を乾燥させ、組み立てに入る。	1
	86		・場合によっては針金、粘土等で補強し体裁よく組み立てる。	1
	87		・組み立て作業	1
	88	作品製作 魚類の骨格標本③	・組立作業	1
	89		・組立作業	1
	90		・組立作業	1
	91	作品製作 魚類の骨格標本④	・組立作業	1
	92		・着色、クリアー感をだすための吹き付け	1
	93		・名前札等をつくる。	1
	94	作品製作 カニの標本製作①	・カニを急速冷凍する。その間にピンセット、針金等道具を	1

3	95	作品製作 カニの標本製作②	準備。カニを取り出し、甲をはずし肉を丁寧に取り出し、	1
	96		水洗い。足も同様に針金を用い、丁寧に取り出す。関節を	1
	97		はずした場合は順番を明記した札をつけておく。その後フ	1
	98		ォルマリンに浸す。	1
	99	作品製作 カニの標本製作③	・フォルマリンから取り出し、乾燥。脚、はさみ等の形に注	1
	100		意しながら接着剤でつけていく。場合によっては針金、粘	1
	101		土を使用し、見栄えがよいように組み立てる。最後に光沢	1
	102		を出すために光沢スプレーを吹き付ける。	1
	103	まとめ	・年間の学習を振り返り、レポートにまとめる	1
	104		同上	1
105		同上	1	

「総合実習」の評価について

1. 評価は「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」の4つの観点から行います。
2. 出席状況、実習記録（実習日誌、自己評価、実習報告）、実習の取組状況などを総合的に評価します。